

実践報告2：海南町におけるボランティア活動

－ 福祉情報通信システムとも関連させて －

徳島県海部郡海南町 前 野 洋 子

海南町ボランティア・コーディネーター，とくしまボランティア・コーディネーター交流学会会長，とくしまボランティア活動推進計画策定協議会副会長

◎海南町の特徴

梶浦さんが私の前に発表してくださったのでほんとに良かったと思います。重複する部分がかなりたくさんありますので，その部分は省いて述べさせていただきます。

まずはじめに、『わが町海南町』という資料を出して下さい[本誌には掲載せず]。海南町がどこにあるかご確認いただきたいのですが，徳島市内から車で約2時間南に走っていただきますと，海部郡のなかに海南町があります。昭和30年に川上，浅川，川東の3村が合併して海南町になりました。脇町も山間部が多かったのですが，海南町も90%が山間部です。町域は209.2㎢で徳島県で50ある市町村のうち，4番目に広い面積を持っています。広いということは，日常生活においては，いろいろと困難な面がでてきます。

人口については，6,192人，2,317世帯，高齢化率は29.53%になっております。

◎海南町ボランティアセンターとボランティア・コーディネーターの活動

平成8年9月に県のボランティアセンター事業を受けて海南町社会福祉協議会内にボランティアセンターが設置されることになりました。それに併せてスタッフの公募があり，私がコーディネーターとして配置されました。当

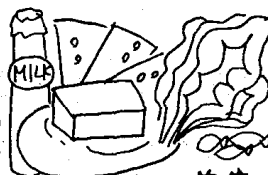
初、私の周りの者たちは口々に「どうしてそんなしんどいことするん。ボランティアなんてね、お金と暇がある人しかせえへんのに。海南町なんかでそんな推進して[どうなるの]。やめとき」といって心配してくれました。また、社会福祉協議会に勤務するようになり最初に事務局長に言われたことは、「数年前にボランティア講座を開催した時に、1人も参加者がいなかった」ということでした。そういう実績があるというぐらい、ボランティアに関心が無い人が多かったようです。もちろん、講座に出席者がいないということと、実際にボランティアをしていないということとは別だと思いますが、ボランティアという言葉に対するアレルギーはあるようでした。

そんな中で、まず最初に取り組まなければならないと思ったことは、「ボランティアセンターというのができたんですよ、ボランティアセンターというのはこんなものですよ、これからボランティアセンターがこういうことをしていくんですよ」ということを住民のみなさんに周知することでした。9月にセンターが設置されましたが、10月には創刊号の情報誌を発行しました。配布資料にある『とどろき』です(図1)。

まだまだ寒さの厳しいこの頃です。皆様お変わりございませんか？ 参加された方に大好評の「おじいちゃんの料理教室」を開催いたします。65才以上の男性ならどなたでも参加ができます。どんどん参加して下さい。



申入光 海南町杜協
TEL 73-1980 (前野)



料理づくりのサポート募集
 料理の下さる方を募集
 して下さる方はい
 ます。詳しくは前
 までご連絡下さい。

とろき

第47号

2001年 2月

海南町社協

ボランティアセンター

TEL 0884-73-1980

FAX 0884-74-3032

(海南町社会福祉協議会)

♡ たくさんの
おもいやりをありがとう

(古切手)
浅川保育所 あさかひほいくしよ
乃一 のいち
日本佐藤社 にっぽんさとうしゃ
阿波銀行 あわぎんぎやう
島田多美子 しまだたみこ
藤名 ふじな (3名)

(芋)
 海南小学校さま
 (おもちゃ)
 原 幸子さま

(割りばし)
 横ひやうか多(株)い長佳道
 島さう島良えげ定
 島ごき西庄馬本む信乃樂

(タオル)
 大仁 行子
 (ティッシュペーパー)
 松本 昭子
 (コーヒー・クリープ)
 島田 夕美子
 (文房具)
 勝浦 一恵

音訊教室 2彈



視覚障害者にとって、日常主治
 の中で不自由はたくさんあります
 が、もっとも不自由なのは「情報
 の収集」と「歩行・移動」です。人が社会主治をおくる上で
 欠かせないのが情報です。情報の約80%は視覚(目)によ
 るもので、これが奪われています。※情報を得るために点字や
 手話が必要で、中々余視覚障害者の方が増えています。

とき 平成13年2月5日(月)~
 2月6日(火) 午後1時~
 ところ 郷土会館 義仁荘
 対象 どなたでも OK!!

4日(日) 補聴器相談
子語講座終了…お疲れさま!
伊勢田ふれあいサロンの説明会

5日(月) 音訳教室(義仁荘)
飯沼ふれあいサロンの説明会

8日(木) 大にふれあいサロン

12日(月) ふれあいいきいきサロン学習会
(婦人会)→役場

15日(木) 絵手紙(役場)
相川ふれあいサロン

16日(金) おや親の会(文に村)

17日(土) 法律相談(義仁荘)
おもちゃの図書館(義仁荘)

19日(月) 音訳教室(義仁荘)

20日(火) 松原ふれあいサロン

22日(木) 吉野ふれあいサロン

23日(金) 決ふれあいサロン

26日(月) 音訳教室(義仁荘)

27日(火) 講演会(文に村、大ホール)

28日(水) おしじやんの料理教室
(文に村)

エ!? ほんど? ためてしんべん!!

ふれあいいきいきサウナから

くわあちやんの知恵袋く鳥田京子

ゆで卵…半熟卵 固ゆで卵の見分け方は?

易がいている卵をおおしてはみ上げると半熟卵はストと落ちてはめなが固ゆではみ上げるとか

おもちゃの
図書館
より

新しいおもちゃがいっぱい。

昨年暮れに、東京都の高田
修二様より、おもちゃ・絵本
をたくさん送っていただきました。
た。みんなよっというで!!

1月20日(土)のおもちゃ図書館に
穴喰い小学校の3年生がやってきた!

突喰小学校の3年生がボランティアとして
仲間(お友達)として 遊びに来てくれました。
おもちゃの準備から片付けを担当してくれま
した。楽しかったです。

手話サークル

西暦水曜日 役場にて
午後7時30分～
初心者も
大歓迎

2級ヘルパー養成講座開催中!

1月21日～4月29日までの期間
90時間の講義と実習が行な
われます。

この『とどろき』は毎月発行しています。囑託員さんが町の広報と一緒に配布してくれていますが、毎月必ず月初めに家庭に届くということで読んで下さる方が増えてきました。

内容は、既存のボランティアグループや新しく誕生したボランティアグループの活動紹介、ボランティアの講習会の案内、講習会に参加して下さった方の声など、住民がたくさん紙面に登場すること、そして楽しくて読みやすい情報誌になるように心がけました。住民の方からの「活字の広報は読む気がしないが手書きが良い」との声に、ずっと手書きで発行しています。

また、ボランティアの話しをさせていただく機会に恵まれると「海南町は、すごいんですよって」って言うてることがあります。この『とどろき』の左側の「たくさんのおもいやりをありがとう」というコーナーを見てください。収集活動ボランティアの方がどんどん増えてきているということです。収集されたものが、どこでどのように役立っているのかは必ずお伝えしていますので目的をもって御協力くださっています。ボランティア活動は身近なところで、できることから始めて下さればいいと思っているので大変うれしいことだと思っています。

割り箸の回収を始めたきっかけは、ボランティアチャレンジャーの取組みからです。海南町はボランティアを推進していくうえで子ども達にスポットを当てました。ボランティアチャレンジャーとは、海南町3校の小学5、6年生の希望者が障害を持つということはどういうことなのか、また環境問題について等テーマを決めて一年間を通じて学びあい活動に結び付けていくものです。子ども達が地元の協力者から学んだことを整理し、自分達ができることは何かを考え、活動に結びつけていく取組みは、地域の人たちの心を動かし、たくさんの協力者を得ました。割り箸回収も子ども達が再利用できるものは何かを学んだ時に、阿南の王子製紙が回収していることを知り、住民に呼びかけていきました。その取組み過程も『とどろき』で紹介していましたが、その頃より住民から、いままで社協が何をしているのか分からなかったけど『とどろき』で社協が見えてきたとか、ボランティアセンターが見えてきたというご意見を頂くようになってきました。

ボランティアセンター事業は3年間で終わったのですが、みなさんの「待てるよ」という声に、事業が終わってからも、センターだよりとして発行しています。

現在もたくさんの方が『とどろき』に登場しています。その方たちが、どんどんボランティアの輪を広げて下さっていると思います。

◎マルチメディア・パイロット事業

海南町にはマルチメディアパイロット事業というのがあり、全町にケーブルテレビが張り巡らされています。そのケーブルテレビの2chで海南町のいろんな情報を流していますので、情報発信源はたくさんある方がいいのでボランティアセンターからの情報も含めてもらっています。利用できるものは何でも利用する精神ですね。

おもちゃの図書館（注1）や、ふれあい・いきいきサロンを、海南町も立ち上げているのですが、そういう時にも必ず住民の人にSOSを出して、「おもちゃの寄付をしてください、カンパをしてください、ボランティアをお願いします」と働きかけて、協力を得てきました。もちろん協力をお願いした場合には、取組み状況、結果報告を忘れないように心がけています。ひとつの取組みをどれだけたくさんの方に周知していくか、また関わっていただけるのかによって広がりが変わってくるのです。

◎ふれあいサロン

ふれあいサロン（図2）も現在8カ所立ち上がっています。「このチラシは、サロンが立ち上がったところを取材して書いたものですが、このチラシを持って「自分らの地域にもこれを作ってください」と、高齢者の方が社協に来られています。そういうふうに町のなかで活動が広がっていています。

最初にボランティア・コーディネーターを受けた時には、ボランティア関連団体は、高齢者クラブ、婦人会、消費者協会（環境保全）等5つ、6つの団体だったのが、平成12年には、最後の資料（表1「ボランティアグループ・活動内容」）を見ていただいて分かるようにたくさん増えてきました。

しかし、ボランティアグループは増えたものの、課題は多々あります。ボランティアはたくさん育ってきたのですが、ボランティアセンターに「ボランティアをお願いします」というユーザー側からの要請がないのです。本当は高齢者の方がこれだけたくさんいるのですから、SOSという形で要請してきてもいいはずなのに無いのです。これまで、ボランティアを養成する方に力を入れ、受けて側のニーズ発掘ができていなかったのです。

ボランティアセンター事業が終わりふれあいのまちづくり事業に現在取り組んでいます。まず最初に高齢者の方たちに対面調査をしました。そんな中で返ってきた言葉で多かったのは「困っていることはいっぱいあるけど、今はまだ我慢できる。体が動かんようになった時には頼む」とか「息子が近所に住んでいるのに他人の世話になったら息子の顔に泥を塗ることになる」でした。「動かんようになった時はしまいじゃがね、困った時にはすぐに連絡してね」と、受けて側の意識改革もしていかなければならないと思います。

[図2]

会館だすふれあいセンター

く自分の地域や町で暮らし続けたい

福祉のまちづくり

“共に支えあう地域社会づくりを目指して”

・・・元張ります・・・

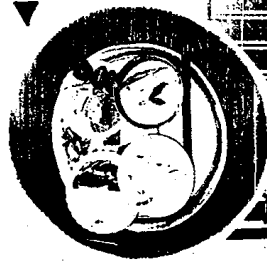
海南町社会福祉協議会

～ふれあいいいきいきサロンとは？～

ふれあいいいきいきサロンは、ふれあいの場づくりとし、日頃家に閉じこもりがちなお年寄りの孤独感の解消および、持たせて、少人数の参加者が歩いていける場所で地域住民と参加者が一緒に、ふれあいの活動を通して、位置が異なる人々を繋ぐための楽しい仲間づくりの活動です。

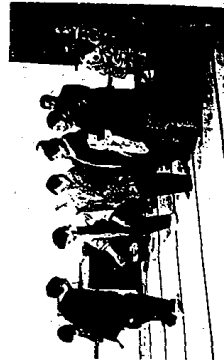
▲会食メニュー

- ・山菜ごはん・・・春を味わう
(カボチャの北川電子さんが準備してくれました)
- ・ソーメン汁・かぼちゃのケーキ
- ・山菜漬け・清け物
- ・ゼリー・・・いちご



大比公民館にて 海南町おかし(50名)の
ふれあいいいきいきサロンが開設されました

指→腕→股→肩→足→全身を
使ってのゲームを楽しむ
▼最後はチームワークを競う!!



▲相談(話し合い)

おかしは？
会食は？
内容は？
環境設備は？



保健婦の片山さんによる
健康相談

...いっまでも
元気でいてほしい!!

鬼面も見て下さい!!

あなたの地域でもばじあませんか。

地域とボランティアの未来

[表1]

ボランティアセンター登録グループ・活動内容

No	グループ名	登録月	人数	活動内容
1	手話サークルつくしんぼう	H9. 1	26	手話通訳 行事協力 勉強会
2	海南町婦人会・日赤奉仕団	4	150	行事協力 清掃 施設訪問
3	〃 高齢者クラブ	4	100	行事協力 清掃 子どもとのふれあい活動
4	〃 青年団	4	15	施設訪問 (もちつき)
5	〃 民生児童委員	4	30	日常生活支援及び情報提供 地域の見守り
6	友愛訪問員	4	32	地域のお年よりの安否確認
7	絵手紙グループ	4	9	高齢者や元気をつけてあげたい人へ絵手紙の発送
8	花ボランティア	4		各地域の花壇で花作り
9	おもちゃの図書館「ポピー」	10	23	障害のある子ども達との交流
10	いわちどり	H10. 1	12	ふれあいサロンサポート・行事協力・清掃
11	ボランティアパートナー	5	20	ボランティアへの相談活動及びコーディネーターと連携しての取り組み
12	たんぽぽ (童謡を歌う会)	6	45	童謡を通じて施設訪問
13	青少年を非行から守る会	7	13	学校訪問 紙芝居で保育所・幼稚園訪問 街頭補導
14	消費者協会	8	14	環境保全
15	商工会婦人部	10	22	清掃・福祉施設の行事参加 町イベント等の協力
16	れいんぼう (音訳)	H11. 2	12	町・社協広報誌の声での広報
17	ウイング (点訳)	3	5	町・社協広報誌の点字での広報
18	おや親の会	H12. 4	13	子育て支援ネットワークづくり 学習会
19	レインボー (劇団)	H13. 4	25	地元の民話等を脚本化し文化の継承
20	収集活動ボランティア		住民	割り箸 使用済みテレか 古切手 書き損じハガキ他

海南町社会福祉協議会・ボランティアセンター

福祉協力校
海南小学校
川上小学校
浅川小学校
海南中学校
海南高等学校

郵便局
ボランティア貯金

ボランティア...

それは、特別な人がするものでもなく
恵まれた人から恵まれない人へでもなく
障害をもたないものが障害をもつものへでもなく
ともに生き ともに考え ともに歩むことではないでしょうか

◎海南町福祉支援情報通信システム

今年から「海南町福祉支援情報通信システム」という通信放送機構の事業で、インターネットを使ってボランティアの希望を集めるシステムづくりに協力することになりました。これは、センターでボランティアの希望を受け

付けて、それをボランティアの登録者につないで、ボランティアの最適手配をするシステムです。この話を聞いた時に、この取組みを通じて高齢者の方たちのニーズをもっともっと呼び起こし、新しい展開ができるのではないかと喜びました。

今までに海南町でボランティアがたくさん育ってきたとお話ししましたが、みんな仕事をもっています。仕事をもっているから活動できるのはホントに限られた時間です。今回の海南町福祉支援情報通信システムというのは、1週間なら1週間の自分たちのボランティア活動ができる時間帯というのを前もって登録しておくことができ、登録している時間帯のなかで支援の要請があった時に連絡が行くようになっている。だれが一番最適か、登録している時間帯と、支援の内容に合わせて、登録している人たちに順番に連絡・手配していくシステムです。

最初にいったように過疎で、かつ、広域でもある、という海南町の特徴は、ボランティア活動にとってハンディです。けれども、ボランティア提供者をパソコンネットに取り込むことで、支援が、そういう制約から解放された形のなかに開かれていくのではないかとものすごく期待しています。

◎今後の課題

今後の課題としては、いま申し上げましたように、受け手の方から「支援をお願いします」と、気軽にいえるように、受け手への働きかけが必要であるということ、それから、介護保険が導入されたことによって、保険によるフォーマルな部分と、ボランティアによるインフォーマルな部分で、重なってしまう部分があること。介護保険で有料とされている部分を、ボランティアの人たちがどういう形でかかわって支援していくのかという問題が持ち上がっています。このことについては、しばらく時間をかけて検討していく余地があると思っています。

最後に、今回の福祉情報通信システムの取組みによって、いつでも頼める、頼めば来てくれる、ということになれば、高齢者の方たちの不安の解消だとか、安心感につながる成果が出てきてくれるのではないかと考えていま

す。それで、いままでボランティアは養成したけれど、活性化されていなくて、活動が十分に出来ていなかったのが、このことによって生かされていけばよいと期待しています。

【注】

- 1) おもちゃの図書館とは、障害のある子ども達が地域の開かれた場所でボランティアと一緒におもちゃで遊べる所です。

【文献】

- 藤村正之 1999『福祉国家の再編成－「分権化」と「民営化」をめぐる日本的動態』、東京大学出版会。
- Habermas, Jürgen 1973 *Legitimationsproblem in spätkapitalismus*. Suhrkamp Verlag. = 1979 細谷貞雄訳『晚期資本主義における正統化の諸問題』、岩波書店。
- Korten, David C. 1990 *Getting to the 21st century: voluntary action and the global agenda*. West Hartford Kumarian Press. = 1995 渡辺龍也訳『NGOとボランティアの21世紀』、学陽書房。
- 中野敏男 1999「ボランティア動員型市民社会の陥穽」『現代思想』、27巻5号。
- Offe, Claus 1984 *Contradictions of the welfare state*. MIT Press.
- Offe, Claus 1996 *Modernity and state: east, west*. Polity Press.
- Oliver, Pamela E. and Gerald Marwell 1992 "Mobilizing technologies for collective action," in Aldon D. Morris and Carol McClurg Mueller (eds.) *Frontiers in social movement theory*. Yale University Press.
- Polanyi, Karl 1957 *The great transformation: the political and economic origins of our time*. Beacon Press. = 1975 吉沢英成他訳『大転換——市場社会の形成と崩壊』、東洋経済新報社。
- Polanyi, Karl 1977 *The livelihood of man*. Academic Press. = 1980 玉野井芳郎・栗本慎一郎訳『人間の経済ⅠⅡ』、岩波書店。
- Wapner, Paul Kevin 1996 *Environmental activism and world civic politics*. State University of New York Press.